

平成 30 年 1 月 4 日
鹿児島地方気象台

九州南部・奄美地方の 2017 年の気候統計値

九州南部では、冬から夏にかけて高気圧に覆われやすかったため、年間の日照時間は多かった。

奄美地方では、夏から秋にかけて太平洋高気圧が日本の南海上で平年より強かったため、暖かい空気に覆われやすく顕著な高温が持続した。このため、年間の気温は高かった。

年平均気温：種子島では「低い」となりましたが、その他は「平年並」か「高い」となり、沖永良部では「かなり高い」となりました。
年降水量：延岡と沖永良部では「少ない」となりましたが、その他は「平年並」か「多い」となりました。
年間日照時間：都城、名瀬、沖永良部では「平年並」となりましたが、その他は「多い」となりました。

2017年の気候表

地点名	平均気温(平年差) 階級		降水量(平年比)階級		降水日数 1mm	日照時間(平年比) 階級	
	()	()	(mm)	(%)		(h)	(%)
宮崎県	宮崎	17.6 (+0.2)	2721.5 (108)	+	107	2224.0 (105)	+
	延岡	16.7 (+0.1)	2044.0 (89)	-	94	2254.6 (106)	+
	都城	16.6 (+0.1)	2568.5 (103)	+	119	1980.2 (102)	
	油津	18.1 (-0.1)	2909.0 (112)	+	108	2019.1 (103)	+
鹿児島県	鹿児島	18.6 (0.0)	2274.0 (100)		124	2027.2 (105)	+
	阿久根	17.3 (+0.1)	2181.5 (106)	+	119	2075.8 (106)	+
	枕崎	18.1 (0.0)	2132.5 (98)		125	1979.6 (103)	+
	屋久島	19.5 (+0.1)	4795.0 (107)	+	156	1610.9 (105)	+
	種子島	19.5 (-0.1)	2845.0 (121)	+	126	1906.6 (106)	+
	名瀬	21.8 (+0.2)	2911.0 (103)		146	1352.9 (99)	
	沖永良部	22.8 (+0.4)	1421.5 (77)	-	107	1879.5 (100)	

(注意)・「階級」の欄の符号は、+ :高い(多い) :平年並 - :低い(少ない)ことを示す。また、階級が「高い(多い)」「低い(少ない)」となった地点のうち、1981~2010年の中で、高い(多い)方または低い(少ない)方から10%に入る極端な値である場合には、階級の「+ -」に*を付加した。この場合には +*:かなり高い(多い) -*:かなり低い(少ない)と表現できる。

・値の横に) や] がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ(日別値)に欠測等が含まれていることを示す。)付きの値(準正常値)は通常のものと同様に扱うことができるが]付きの値(資料不足値)については、値の下に記載した統計日数(統計に用いた、品質が十分な日別値の数)を参考にして、品質を確かめてから使用されたい。

2017年の気候統計値に3位以内の順位更新はありませんでした。

問合せ先：鹿児島地方気象台 季節予報担当

電話 099-250-9912 (内線 241・242) FAX 099-255-4234

季節別の天候経過

冬（2016年12月～2017年2月）

- 期間の前半に気温が高かったため冬の気温は高かったが、後半は寒気の影響を受けた時期があった。
- 日照時間は多かった。九州南部では平年比122%とかなり多く、統計開始（1946年）からの1位を更新した。

12月：九州南部では、冬型の気圧配置が長続きせず、高気圧と低気圧が交互に通過したため、天気は数日の周期で変わった。奄美地方では、気圧の谷や前線、寒気の影響で曇りや雨の日が多くなった。

1月：上旬と下旬は、高気圧と低気圧が交互に通過したため天気は数日の周期で変わった。中旬は、期間の中頃までは冬型の気圧配置が続き、九州南部では晴れた日が多くなったが、奄美地方では気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨の日が多くなった。期間の終わりは気圧の谷や前線の影響で曇りや雨となり、20日は冬型の気圧配置が強まったため荒れた天気となった所があった。

2月：上旬の中頃までは高気圧と低気圧が交互に通過したため、天気は数日の周期で変わった。上旬の終わりから中旬のはじめは冬型の気圧配置が強まり九州南部の太平洋側では晴れたが、九州南部の東シナ海側と奄美地方では寒気の影響で雨や雪の降った所があった。その後は、九州南部では高気圧に覆われて晴れた日が多くなったが、奄美地方では気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨の日が多くなった。なお、17日は、サハリン付近の低気圧の影響で南よりの風が強まって気温が上昇し、春一番が吹いた。

春（3月～5月）

- 九州南部では、日照時間が多かった。

3月：九州南部では、高気圧と低気圧が交互に通過して天気は数日の周期で変わった。低気圧通過後は冬型の気圧配置となった日があり、2日と8日、26日から27日は、強い寒気の流れ込みで東シナ海側を中心に雷雨や荒れた天気となった。奄美地方では、低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多くなった。

4月：高気圧と低気圧が交互に通過して天気は数日の周期で変わった。5日から11日は低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が続き、7日と10日、16日から17日は大雨や荒れた天気となった所があった。

5月：九州南部では、中旬の前半までは高気圧と低気圧が交互に通過して天気は数日の周期で変わり、9日と12日から13日は低気圧や前線の影響で大雨や荒れた天気となった所があった。その後は高気圧に覆われて晴れた日が多くなった。奄美地方では、中旬までは天気は数日の周期で変わった。下旬は高気圧に覆われて晴れた日もあったが、前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなった。

夏（6月～8月）

- 気温は高く、日照時間は多かった。
- 奄美地方では、8月の平均気温の地域平均平年差が+1.5 となり、1946年の統計開始以来8月としては1位の高温となった。

6月：九州南部では、上旬の前半までは高気圧に覆われて晴れた日が多くなったが、その後は気圧の谷や前線の影響で曇りや雨の日が多くなり、下旬は前線が九州南部付近に停滞したため大雨となった日があった。奄美地方では、上旬は高気圧に覆われて晴れた日が多くなったが、その後は前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなった。

7月：九州南部では、中旬の前半までは気圧の谷や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、大雨や荒れた天気となった日があった。その後は高気圧に覆われて晴れた日が多くなったが、強い日射や湿った空気の影響で大雨や雷雨となった日があった。奄美地方では、上空の気圧の谷や湿った空気の影響で曇りや雨の日もあったが、高気圧に覆われて晴れた日が多くなった。

8月：上旬は高気圧に覆われて晴れた日もあったが、台風第5号や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、4日から6日は大雨や大荒れとなった所があった。中旬以降は、気圧の谷や湿った空気の影響で曇りや雨の日もあったが、高気圧に覆われて晴れた日が多くなった。

秋（9月～11月）

- 降水量は多かった。日照時間は少なく、九州南部ではかなり少なかった。
- 奄美地方では、気温はかなり高かった。特に9月は、平均気温の地域平均平年差が+1.0 となり、1946年の統計開始以来9月としては1位の高温となった。

9月：天気は数日の周期で変わったが、低気圧や前線、湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなった。中旬の中頃は、台風第18号や前線の影響で大雨や荒れた天気となった所があり、特に17日は、台風第18号が鹿児島県垂水市付近に上陸したため、大荒れとなった所があった。

10月：九州南部では、天気は数日の周期で変わったが、前線や台風、湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなった。奄美地方では、中旬のはじめまでは高気圧に覆われて晴れた日が多くなったが、その後は台風や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなった。なお、21日から22日は台風第21号の影響で、28日から29日は台風第22号が接近し、大雨や大荒れとなった所があった。

11月：九州南部では、高気圧と低気圧や気圧の谷が交互に通過し、天気は数日の周期で変わった。奄美地方では、高気圧に覆われて晴れた日もあったが、気圧の谷や前線、寒気の影響で曇りや雨の日が多くなった。

平均気温・降水量・日照時間の気候統計値

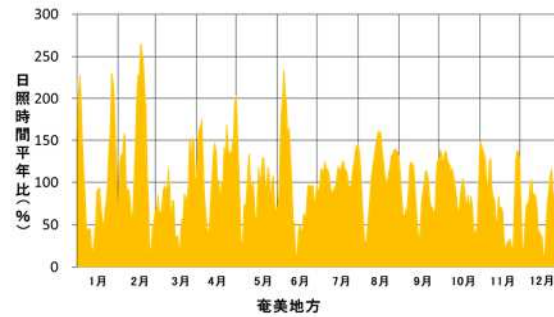
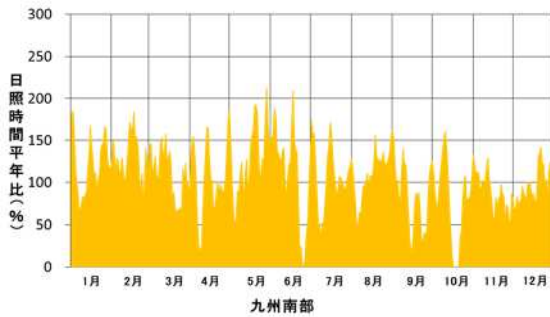
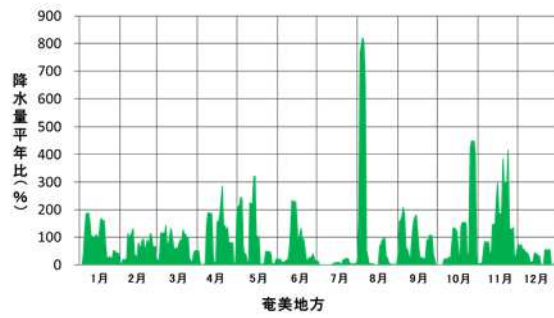
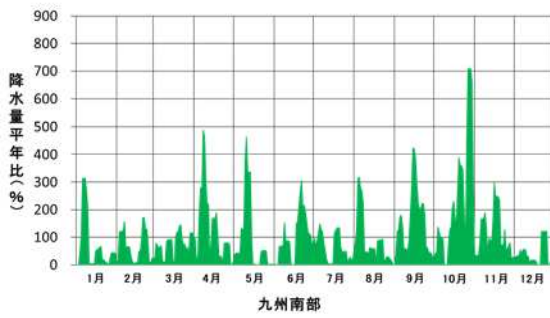
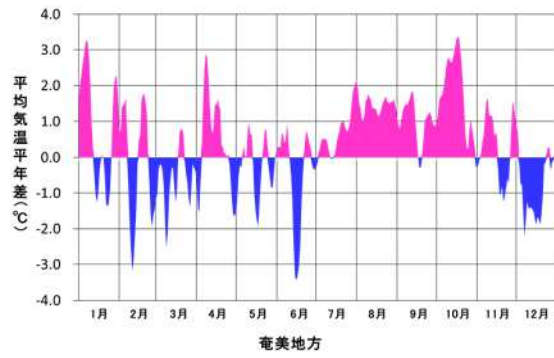
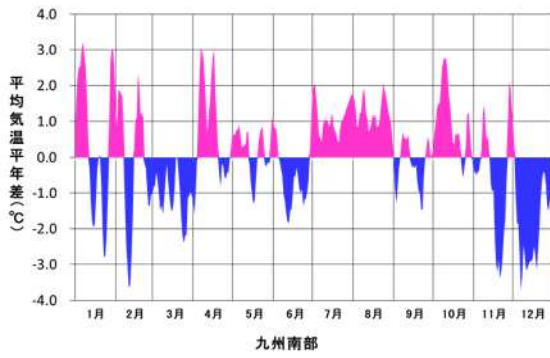
九州南部

	平均気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
平成 28 年 12 月	かなり高い(+1.7)	平年並(108)	多い(116)
平成 29 年 1 月	高い(+0.6)	少ない(69)	かなり多い(121)
2 月	平年並(-0.1)	少ない(64)	かなり多い(131)
冬(12月~2月)	高い(+0.8)	少ない(78)	かなり多い(122)
3 月	低い(-1.0)	平年並(81)	平年並(105)
4 月	高い(+0.7)	多い(132)	多い(106)
5 月	平年並(+0.2)	少ない(85)	多い(125)
春(3月~5月)	平年並(0.0)	平年並(100)	多い(112)
6 月	低い(-0.6)	多い(108)	多い(111)
7 月	かなり高い(+1.1)	少ない(63)	平年並(106)
8 月	かなり高い(+1.2)	平年並(91)	多い(109)
夏(6月~8月)	高い(+0.6)	平年並(90)	多い(108)
9 月	低い(-0.3)	多い(150)	少ない(86)
10 月	高い(+1.0)	多い(227)	かなり少ない(76)
11 月	低い(-0.5)	平年並(113)	少ない(85)
秋(9月~11月)	平年並(+0.1)	多い(163)	かなり少ない(82)
12 月	かなり低い(-1.9)	少ない(37)	平年並(98)
年	平年並(0.0)	多い(105)	多い(105)

奄美地方

	平均気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
平成 28 年 12 月	かなり高い(+1.5)	少ない(65)	平年並(96)
平成 29 年 1 月	高い(+0.9)	平年並(85)	平年並(102)
2 月	平年並(-0.2)	少ない(65)	多い(130)
冬(12月~2月)	高い(+0.7)	少ない(73)	多い(109)
3 月	低い(-0.5)	少ない(78)	少ない(82)
4 月	高い(+0.4)	平年並(98)	かなり多い(125)
5 月	平年並(-0.3)	少ない(88)	少ない(90)
春(3月~5月)	平年並(-0.2)	平年並(88)	平年並(100)
6 月	低い(-0.5)	平年並(85)	平年並(95)
7 月	高い(+0.6)	かなり少ない(7)	かなり多い(113)
8 月	かなり高い(+1.5)	多い(146)	多い(113)
夏(6月~8月)	高い(+0.5)	平年並(86)	多い(108)
9 月	かなり高い(+1.0)	平年並(86)	少ない(88)
10 月	かなり高い(+1.8)	多い(125)	平年並(94)
11 月	平年並(+0.3)	多い(145)	少ない(90)
秋(9月~11月)	かなり高い(+1.0)	多い(115)	少ない(90)
12 月	低い(-0.8)	かなり少ない(36)	かなり少ない(64)
年	高い(+0.3)	少ない(90)	平年並(100)

地域平均平年差（比）の経過（5日移動平均）



梅雨入り・梅雨明け

	梅雨入り	平年	梅雨明け	平年
九州南部	6月6日ごろ (遅い)	5月31日ごろ	7月13日ごろ (平年並)	7月14日ごろ
奄美地方	5月13日ごろ (平年並)	5月11日ごろ	6月29日ごろ (平年並)	6月29日ごろ

主な地点の梅雨期間の降水量

	地点名	降水量 (mm)	平年比 (%)	平年値 (mm)
九州南部 (平年比 91%)	延岡	418.5	68	618.6
	阿久根	472.0	67	709.0
	鹿児島	705.5	91	771.2
	都城	869.0	106	819.2
	宮崎	487.0	66	738.6
	枕崎	656.5	98	673.2
	油津	621.5	85	727.1
	屋久島	1103.0	102	1085.5
	種子島	902.0	134	673.0
奄美地方 (平年比 86%)	名瀬	505.0	76	668.8
	沖永良部	437.0	95	457.8

九州南部は6月と7月、奄美地方は5月と6月の合計(平年値は1981年～2010年の30年平均)

台風

(注)速報値のため後日変更になる場合がある。また、平年値は1981年～2010年の30年平均。

- 2017年の台風の発生数は、27個(平年25.6個)であった。
- 九州南部への台風の上陸数は1個で、9月17日に鹿児島県垂水市付近に上陸した。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年
2017年	0	0	0	1	0	1	8	5	4	3	3	2	27
平年値	0.3	0.1	0.3	0.6	1.1	1.7	3.6	5.9	4.8	3.6	2.3	1.2	25.6

九州南部・奄美地方への接近数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年
九州南部	2017年	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	4
	平年値	-	-	-	0.0	0.0	0.4	0.7	0.9	1.0	0.4	0.0	-
奄美地方	2017年	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	3
	平年値	-	-	-	0.0	0.1	0.3	0.8	1.0	1.1	0.6	0.0	-

九州南部への上陸数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年
九州南部	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1

九州南部・奄美地方へ接近した台風の経路図

